

# エコロジカル デモクラシー

まちづくりと生態的多様性を  
つなぐデザイン

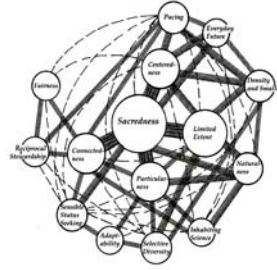
ランドルフ・T・ヘスター 著  
土肥真人 訳

Design for  
Ecological  
Democracy

Randolph T. Hester

# エコロジカル・デモクラシー とはなにか

— まちづくりと生態的多様性をつなぐデザイン —



# ECO LOGI DEMOC RACY

すごい本である。本書はデザインの質およびデザイナーの資質に対して、きわめて振幅の大きな評価の物差しを持っていることが窺える。デザインはモノや空間の造形として体现される。この本では、造形のあり方に対しては寛容であるが、決して造形を軽視はしない。造形を生み出すデザイナーに頼ることはないが、デザイナー個人の空間や場所、造形に対するきわめて深い洞察力と創造力の資質なしには、エコデモの未来は切りひらけないという。それはすなわち著者ランディー自身の歩んできた道である。

——佐々木 葉 (早稲田大学教授)

鹿島出版会



ゲスト 土肥 真人 氏

エコロジカル・デモクラシー財団代表理事。東京工業大学環境・社会理工学院准教授。博士（農学、京都大学）。1993-94年、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員を務め、ランディー・ヘスター氏にコミュニティ・デザインを学ぶ。「エコロジカル・デモクラシー：まちづくりと生態的多様性をつなぐデザイン」（鹿島出版会、ランドルフ・T・ヘスター（著）、土肥真人（訳）、2018）、「まちづくりの方法と技術—コミュニティ・デザイン・プライマー」（現代企画室、ランドルフ・T・ヘスター、土肥真人（共著）、1997）など。2016年、「一般財団法人エコロジカル・デモクラシー財団」を仲間と共に設立。

日時 | 2018年7月13日(金) 18:30 ~ 20:30 (18:15 受付開始)  
場所 | 福岡市立中央児童会館あいくる 7階多目的ルーム

福岡市中央区今泉1丁目19-22 7F (西通り・国体道路交差点そば)

参加費：無料 定員：50名程度 (先着順)

## 趣旨

都市デザインやまちづくりにおいて、自然や生態系といった環境への配慮は今日必須の課題といえる。そうしたなか、ランドスケープ・アーキテクトの世界的権威であるランドルフ・T・ヘスター氏の原著「Design for Ecological Democracy」の邦訳本が本年4月に「エコロジカル・デモクラシー：まちづくりと生態的多様性をつなぐデザイン」として出版された。本書ではエコロジーとデモクラシーが結びつき、人々の心に触れる都市を創るための都市形態の理論と豊富な事例が述べられ、示唆に富むエコロジカル・デモクラシーのデザインについて「3つの都市形態」と「15のデザイン原則」が整理されている。本セミナーでは本書の出版を記念し、翻訳者であるとともに、我が国において「一般財団法人エコロジカル・デモクラシー財団」を設立された土肥真人氏を迎え、「エコロジカル・デモクラシー」の考え方やその可能性について、基調講演と全体ディスカッションを通して考えてみたい。

## プログラム

- 18:30 趣旨説明
- 18:40 ゲスト基調講演 | 土肥 真人  
「エコロジカル・デモクラシーとはなにか  
—まちづくりと生態的多様性をつなぐデザイン—  
—休憩—
- 19:40 全体ディスカッション  
司会・聞き手 | 柴田 久  
(福岡大学 工学部社会デザイン工学科 教授)
- 20:30 閉会